

6月7日「緑内障を考える日」に開設
『緑内障ホットライン』に2日間で105件も
～相談の3分の1は、“本来は医師に尋ねたい疑問や不安”～

緑内障の患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,641名)は、「緑内障を考える日」である6月7日(土)及び8日(日)の2日間、緑内障に関する相談、悩みにお答えする「緑内障ホットライン」を開設しました。2日間で計105件もの相談が寄せられ、自身も緑内障である会員患者さんが相談者の切実な悩み、不安にお答えしました。また、相談者の約85%は、患者さんご本人からでした。

ホットラインでの相談内容を集計した結果、以下の点が明らかになりました。

相談の3分の1は、“本来は医師に尋ねたい疑問や不安”

全相談の3分の1を占めたのが、“本来は医師に尋ねたい疑問や不安”であることが分かりました。最も多い「病気について」の相談が18.5%(29/157件)、次いで「日常生活での注意点」が14.0%(22/157件)、合わせて全体の32.5%(51/157件)が、本来は医師に尋ねたいが、実際には聞けていない疑問や不安の相談でした。

「病気について」の具体的な相談内容は、「目の痛みについて」「点眼薬で進行は止まるか」「今の治療法で良いのか」「現在、様子見と言われているが大丈夫か」など、また「日常生活での注意点」は、「カフェインは良くないと聞いたが、コーヒーを飲んではいけないのか」「食事で良いものはあるか」などでした。

さらに「医師について」の相談が14.0%(22/157件)寄せられ、「医師と話す機会が乏しい」「先生と合わない」などの声もありました。

今回の結果を受け、野田泰秀事務局長は「患者さんはさまざまな不安や疑問を抱えています。しかし、それを医師に直接尋ねることをためらっている患者さんが多いという実態が浮き彫りになっていると思います。毎年私たちの会ではホットラインを開設し、患者さんのこのような相談にのっていますが、診療で忙しい医師に複数の質問を一度に聞くのではなく、今回はこの質問を聞く、と予め決めてから診察に臨む、また医師だけでなく看護師さんや薬剤師さんなどにも相談するなど、疑問や不安を解決するには、患者さん自身にも工夫が必要、とアドバイスしています」と述べています。

緑内障フレンド・ネットワークでは今後もこのような活動を通じ、緑内障に関する正しい情報の提供、悩みや不安の共有、アドバイスなどを継続して行い、一人でも多くの緑内障で悩む方のお力になれるよう努めて参ります。

緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位とされています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)という眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプが緑内障全体の約7割を占めているとされています。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためには、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が代表顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、世界緑内障患者協会(WGPA)の一員として日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-16-501

TEL:03-3272-6971 FAX:03-3272-6972

<http://www.gfnet.gr.jp> e-mail: info@gfnet.gr.jp

【参考資料】

「緑内障ホットライン」相談内容の集計結果

概要

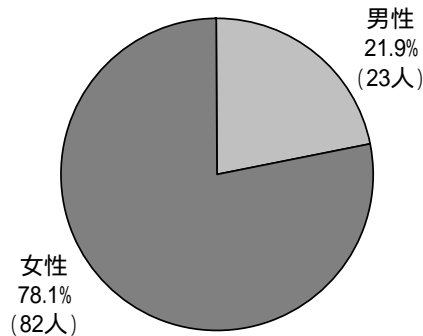
開設期間： 2008年6月7日(土)～6月8日(日)
開設時間： 9:30～16:00
相談件数： 105件 (52.5件/日)
電話回線： 2回線
対応時間： 1人平均30分
相談員： 40代～60代の男女の患者6名(会員)

内訳

1) 相談者の性別

相談者の78.1%が女性でした。男性の約3.5倍となっており、女性の方が病気についてより高い関心を持ち、行動されていることがわかります。

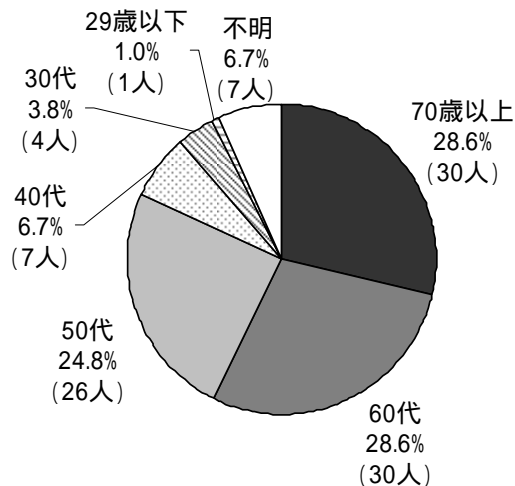
< 相談者の性別 (n=105) >



2) 相談者の年齢

82.0%が50歳以上の方で、40代の相談者数は6.7%にとどまっています。緑内障は40歳以上の方に多く見られる病気です。早期発見のために、40代の方にもより関心を持っていただくことが必要であると言えます。

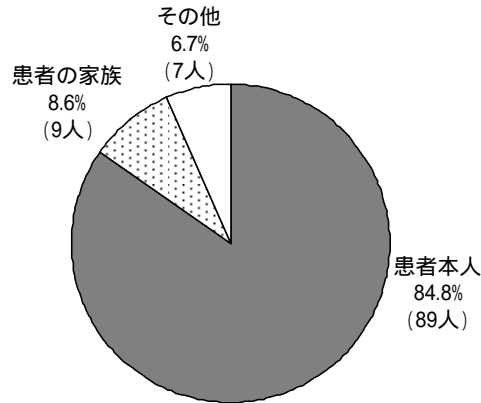
< 相談者の年齢 (n=105) >



3) 相談者の属性

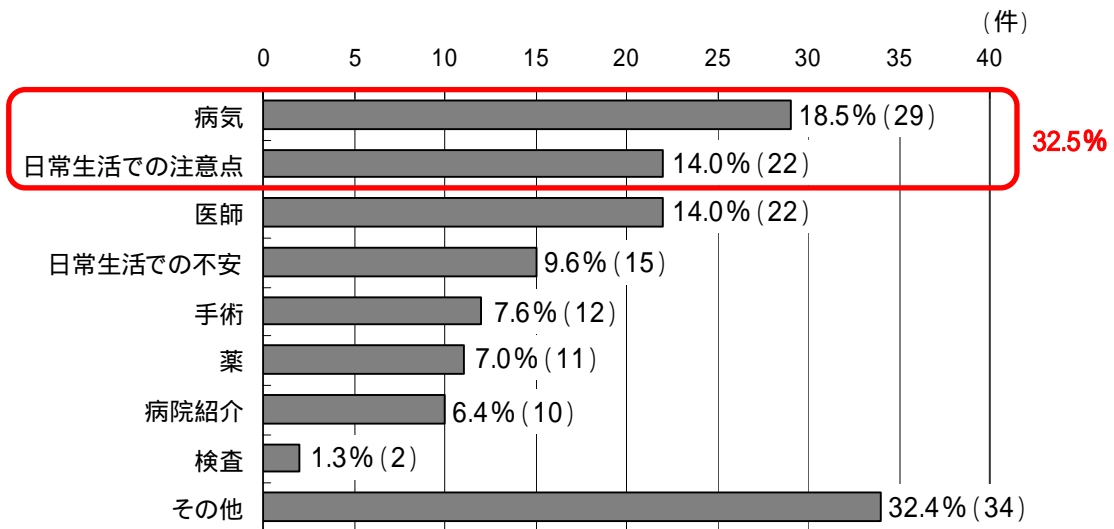
「患者本人」からの相談が 84.8%を占めています。現在医師の治療を受けている患者でも、緑内障について疑問や不安を抱えている方が多いことがうかがえます。

< 相談者の属性 (n=105) >



4) 質問・相談内容

< 質問・相談内容 (複数相談、n=157) >



- 病 気 ... 緑内障について知りたい、など
- 日常生活での注意点 ... 日常生活での注意点、など
- 医 師 ... 医師とのやり取り、医師への相談方法、など
- 日常生活での不安 ... 失明に対する不安、など
- 手 術 ... 不安、具体的な方法、など(レーザー治療含む)
- 薬 ... 治療薬の変更、種類、点眼の回数、など
- 病 院 紹 介 ... 病院を紹介して欲しい、など
- 検 査 ... 緑内障の検査内容、どこで受けられるか、自己チェック、など

5) 具体的な相談内容(抜粋)

- 病 気 ...目の痛みについて
点眼薬で進行は止まるか
今の治療方法で良いのか
現在、「様子見」と言われているが大丈夫か
- 日常生活での注意点 ...カフェインは良くないと聞いたが、コーヒーを飲んではいけないのか
食事で良いものはあるか
- 医 師 ...大きい病院と小さい病院で診断結果がちがう
先生と話す機会が乏しい
先生と合わない
- 日常生活での不安 ...仕事をしたいが不安
治療を続けているが不安をぬぐい去れない
- 手 術 ...手術のメリット・デメリットを教えてください
手術後のケアについて
- 薬 ...今使っている点眼薬の副作用について
- 病 院 紹 介 ...緑内障の専門病院を教えてください
セカンドオピニオンは必要か
- 検 査 ...検査が多い
- そ の 他 ...患者の仲間を作りたい
緑内障フレンド・ネットワークに入会したい
付き合っている彼が緑内障と診断され心配
自分が緑内障で、息子の眼が心配。システムエンジニアの仕事の続けさせて大丈夫か

以上